

科目名	公民Ⅰ CivicsⅠ			担当教員	田口 淳		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	16120014	単位区分	履修単位
学習目標	心理学を通して自己と他者に対する理解を深めるとともに、先哲の思想を学ぶ中で、社会人としての人生観・世界観・価値観の深化を目標とする。						
進め方	講義形式を基本とする。要点は板書もしくはプリントを配布しながら進めていく。 適宜、簡単な心理テストの実施、また討論や視聴覚教材を通して、各自の思索が深まるようにする。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 「倫理」とは？(1) 2. 生命倫理について(1) 3. 青年期の課題と自己形成(12) (1) 青年期の意義 (2) 青年期の課題と生き方			科学技術が社会に与える影響とともに、現代社会が抱える倫理的諸問題が理解できる。 青年期の特徴を理解するとともに、青年期に生きる自分自身の課題を明確にすることができる。 学習・教育目標：(A-1)			
	[前期中間試験](2)						
	*試験返却・解説(1) 4. 哲学の定義と動機(3) 5. 古代ギリシャの思想(10) 自然哲学者、ソフィスト、ソクラテス、 プラトン、アリストテレス、エピクロス ゼノン			哲学することの意義が理解できる。 哲学の定義及び動機について理解できる。 理性を重視した古代ギリシャの哲学思想・倫理思想の基本的な内容が理解できる。 学習・教育目標：(A-1)			
	前期末試験						
	*試験返却・解説(1) 6. 中国の思想(6) 諸子百家、孔子、孟子、荀子、老子、莊子 朱子、王陽明 7. 宗教とは？(1) 8. ユダヤ教とキリスト教(6)			中国古代の思想の流れと基本的な倫理観が理解できる。 宗教の本来のあり方や必要性が理解できる。 ユダヤ教、キリスト教の基本的な教義及び倫理観が理解できる。 学習・教育目標：(A-1)			
	[後期中間試験](2)						
	*試験返却・解説(1) 9. イスラーム(3) 10. バラモン教と仏教(10)			イスラーム、バラモン教、仏教の基本的な教義及び倫理観が理解できる。 学習・教育目標：(A-1)			
	後期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	評価の内訳は、レポートの提出状況 10%、定期試験 90%とする。 四半期ごとの全体評価への重みは、すべて各 25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	歴史Ⅰ（1年）→ 歴史Ⅱ（2年）→ 公民Ⅰ（2年）→ 公民Ⅱ（3年）→ 人文科学（4年）						
教材	教科書：竹内整一 他著『倫理』 東京書籍 ISBN 978-4-487-18720-1						
備考	単位追認試験は実施する。再試験の実施については、クラスの平均点を考慮して判断する。 担当教員への連絡先 TEL：087-869-3842 E-mail：taguchi@t.kagawa-nct.ac.jp						